

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年8月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900158
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス東市来
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里880番地15 (電話) 099- 274- 7255
自己評価作成日	平成27年7月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

利用者一人ひとりのペースに合わせて、無理強いせず、「待つ」ことを徹底しています。収集癖の方がおられ対応に苦難しています。トイレトペーパーをまるごと持ち帰り、トイレにペーパーを置けない状態です。そのことで他者とのトラブルも度々あり、声かけにも逆切れして暴行へとながってしまうため、怪我のないように支援しています。帰宅願望があり出口を探しまわっている方もおられるため、その都度、状態に合わせて支援しています。地域との連携では介護予防ボランティアの方が定期的に入って下さっています。掃除や入居者様との会話等手伝ってもらい助かっています。職員の質の向上にも努め、お互いの声かけを密に行い、利用者との関わり方、家族との関わり方についても、理事長の指示のもと支援を行っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年8月7日

- ・当事業所は近隣に温泉施設や日置市海洋センター・商店街があり、散歩や買い物の際には挨拶や会話を行い、多くの人と触れ合いながら生活している。
- ・母体医療機関からの定期的往診や緊急時の対応など24時間医療連携体制が整っている。
- ・日置市と災害時に於ける連携協定書を結んでいる。日置市や地域の有線放送で日常の情報を得て、地域との交流が行われている。
- ・事業所行事のクリスマス会や忘年会などに地域住民や家族が参加したり、ボランティアの受け入れなども積極的に行っている。
- ・利用者個々人の生活歴や思いを把握して、その人らしい暮らしができるように支援している。
- ・管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、職員育成に力を入れている。職員は関連施設に見学に行ったり研修会に参加する等、自己研鑽に努め、サービス向上に活かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念である「ゆっくりゆったりけれどもしっかり」「あったか地域であったか交流みんなで作ろうあったかの輪」の実現の為に、毎朝、玄関に掲示しており、毎朝唱和を行い理念の共有を図っています。職員全員で入居者のペースでの生活を支援できるように全力で取り組んでいます。	職員全員で見直し、地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念である。詰所や玄関に掲示している。毎朝唱和し、パンフレットにも掲載し、名札の裏側にも明記している。会議などで振り返り、理念に添ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外に出て近隣の方々との挨拶や会話をしたり、地域の小・中学生やボランティア活動等を通して交流を図っています。	地域の行事のいきいきサロンや敬老会・運動会などに参加したり、事業所の行事に家族や地域住民が参加している。地域の女性学級との交流や小・中学生の福祉体験学習の受け入れ、ボランティアの受け入れなども行い日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所での実践内容を踏まえ、地域の様々な研修や機会に関わることで、認知症ケアの啓発に努めています。地域の独居老人についても災害時等の施設提供を行い、人材育成の貢献として実習生、福祉体験学習の受け入れも積極的に行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営者、第三者委員会、家族代表の方と現状報告等を含めて話し合いを行い、ご意見、ご要望等を取り入れつつサービス向上へ活かしています。自治会長さんを通じてホームへの協力をお願いをしています。また、外部評価の報告説明も運営推進会議の際に行っています。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況報告や外部評価の報告などを行い意見交換をしている。提案で地域で見守り協力の申出や介護体験談・地域の行事・課題・取り組みなどの情報提供があり、市との災害時に於ける連携協定書を結んだことで、地域との交流が活発になっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を通して状況報告等に協力していただき、連携の強化に取り組んでいます。あったかだよりを市の担当者へ届け、協力体制に取り組んでいます。</p>	<p>市担当者とは更新手続き時やホームの便りを届けたりして、日頃より連携を取っている。事業所連絡会があり、管理者が役員をするなど、協働関係にある。介護相談員の来訪や地域包括支援センター職員の定期的な聞き取りもあり、日頃から相互関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月のミーティングで身体拘束ゼロへの手引き、事例を交えて勉強会を行い、身体拘束検討会も行っています。また、管理者会議にて理事長や誠心会関係スタッフと共に理解を深め、職員の共有意識を図っています。</p>	<p>定期的な勉強会を実施し、対象となる事例検討会などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間の玄関の施錠はせずに職員間の連携で安全な生活を支援している。帰宅願望のある利用者に対しても常に寄り添い、地域にも見守りをする住民がいて協力関係にある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>家族との連携を密にとりながら利用者の状況把握を行い、高齢者虐待防止法の浸透や向けた取り組みを行っています。また、毎月のミーティングの中でヒヤリハットの状況報告に合わせて虐待防止について学習し、検討を行い、周知徹底に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>対応が必要な利用者がいらっしゃるときは、運営者の指示にて説明、アドバイスを行って支援できる体制ができています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に事業所の重要事項等を含め、ケアに対する考え方や取組み、退居を含めた事業所の対応可能な範囲について説明しています。利用料金やホームで起こりうるリスク、重度化についての対応、医療連携体制などについては詳しく説明し、同意を得るようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時等は常にお声をおかけして気軽に話せて相談できる雰囲気作りに努め、家族会も行い、利用者、ご家族のご意見、ご要望等をお聞きしています。出されたご意見、ご要望等はミーティングで検討し、反映させています。また、第三者委員についても説明し理解していただいています。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で、思いを聞いている。家族からは面会や家族会・電話・行事参加後などに声かけし、意見や要望を聞くようにしている。「あったかだより」を送付し思いを表す機会は設けている。出された意見や要望等は申し送りノートで確認し、職員で話し合い運営やケアに反映させている。第三者委員も掲示し、相談や苦情がしやすい体制ができている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員はミーティング等で日頃からコミュニケーションを図るように心がけ、申し送りノートも活用しています。運営者と管理者の話し合いの機会も十分に持たれており、サービスの質の向上に向けた意見交換が行われています。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、ミーティングや勉強会時に職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設けている。理事長も参加の管理者会議を行い反映を図っている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。同系列のフィットネスクラブも利用して職員間の交流も図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に運営者も来ており、利用者と過ごしたり、職員一人一人の業務や悩み事等を把握されています。また、職員が向上心を持って働けるように、職能評価も行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>医療や介護について専門の方をお呼びして、研修の場がとれる体制が整っています。管理者、計画作成担当者のみでなく、職員全員が自分の学びたい内容を計画し、年間計画表を作成し、担当者を中心に実施しています。勉強会、外部研修、法人内研修にも参加しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの見学や相互研修会での事例検討や意見交換を行い、事業所外の人材の意見や経験をケアに活かせるように取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望者やそのご家族から相談等、情報収集した内容を分析し、ご本人の求めていることや不安に思っていることを理解するために工夫しています。職員を信頼していただけるよう、関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人だけでなく、ご家族のご意見、ご要望等を理解し事業所して、どのような対応がふさわしいかを事前に話し合いができるように努めています。これまでの家族状況、生活履歴等をゆっくりとお聞きし、対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いや状況等をお伺いし、改善に向けた支援の提供、相談を繰り返しながら信頼関係を築き、必要なサービスにつなげていけるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという思いを全職員が共有している。ご本人の持っている機能や、趣味や経験をいかしていただけるような機会を作ったり、他の利用者と馴染みの関係作りが出来るような場面をつくり、穏やかな生活が出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の普段の様子や思っていることを、細かくご家族に伝え、ご本人に喜んでいただき、安心できる雰囲気作りが出来るよう、ご家族と一緒に考えていきたいと思っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の今まで過ごしてこられた生活や環境、馴染みの関係等を理解しながら、その状況に合わせた対応を行い、取り入れられるところは取り入れられるよう工夫していきたいと思っています。	馴染みの友人知人の訪問があり、継続的關係が途切れないよう働きかけている。電話の取次ぎなども行っている。家族の協力を得ながら自宅訪問や馴染みの商店での買い物・外食・墓参など、支援している。美容院は行きつけのところに送迎をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者お一人お一人の話をお聞きし、相談に乗り、その状況に合わせて対応し、みんなで楽しく時間を作ったり、気の合う方同志で過ごせる場面を作るなど、職員が調節しながら支援していきます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された方にも行事への声をおかけしたり、野菜や果物を持ってきてくださるなど、継続的なおつきあいをさせていただいています。また、ご家族の相談にも対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者1人ひとりの思いや考えを尊重し、ご家族を交えて検討しながら、その人の思いに少しでも近づけて行けるような支援をしています。	家族や馴染みの友人・知人からの情報を得て、日々の関わりの中で表情や言動等から思いや意向の把握に努めている。職員間で情報交換を行い支援している。意思疎通が困難な場合は、介護ノートにどの場面で何があったのかを記録してミーティングで話し合うなど、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の今まで送られてきた生活歴を理解し、経験や趣味を生かした暮らしができるよう支援し、それぞれできること、出来ないことを把握し、職員間で共有するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者お一人お一人の状態を把握し、出来ることを重視し、その人らしく過ごしていただけるよう支援していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者やご家族に普段の関わりの中でご池にゃご要望を尋ね、反映させるようにしています。職員間でも、意見効果にゃモニタリングを行い、ケアプランにつなげていきたいと思ひます。	利用者や家族の要望や主治医の訪問診療指示・職員の意見などのアセスメントを行い、課題を明確化し現状に即した介護計画を作成している。項目別のチェック表に基づき毎日チェックし、3ヶ月毎にモニタリングを行い、状況変化に応じて見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は、個々のケア記録に記入し食事量、水分量、排泄、身体状況及び日々の暮らしや本人の言動、エピソード等を記録しケアプランに反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の訴えがうまく聞き取れない状況が多く家族の要望を重視してしまふことがあります、表情等で察し家族と相談しながら支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々、近所の商店との交流や消防署、学校関係からの定期的な訪問もあり、周辺施設から理解や協力を得られるように取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院はご本人やご家族様の希望に応じて対応しています。事業所の協力医の他、利用者からのかかりつけ医での医療を受けられるようご家族様と連携を図っています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。母体医療機関からの2週間に1回の訪問診療や歯科往診もあり、訪問看護との連携も図られている。緊急時に対応できる24時間医療連携体制が整っている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護との契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言等協力してもらっています。職員と看護師とは気軽に相談できる関係が出来ており、看護師と医療機関との連携体制も整っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には本人への支援方法に関する情報を入院連絡表にて医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしています。また家族とも情報交換をしながら回復状況等速やかな退院支援に結びつけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末に対する対応指針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合いを行う体制です。また、状況の変化があるごとに家族の気持ちの変化や本人の思いに注意しながら支援につなげています。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医や看護師を含む関係者と連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員は年間計画で関連の勉強会や講習会で研鑽している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得て、普通救命講習受講、消防訓練による心肺蘇生法を行い、緊急時対応の訓練に取り組んでいます。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回利用者とともに、避難訓練や自主訓練も行っている。地域の協力体制については、運営推進会議で自治会長さんへの協力体制や隣接の職員寮生からの応援体制もとれるようにしています。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと昼夜想定避難訓練と、年1回自主訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置されている。法人寮の事業所職員や地域住民との協力体制もできている。災害時の食料や水の備蓄もある。日置市と「災害時に於ける連携協定書」を結んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの尊厳を重んじ、各々に合わせた言葉遣いや対応に心がけるよう、ミーティング時、全職員に周知徹底しています。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。定期的に勉強会を行って、職員の資質の向上に取り組んでいる。実習生や職場体験学習の受け入れ時にも対応の説明をしプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や選択できる場面を多く作り出せるように、利用者に合わせて声掛けをおこなっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて生活できるように、心身の状況や日々の状況に合わせて個別性のある支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝の着替えは基本的に本人の意向で決めて頂き、職員は見守りや支援の必要な時に手伝うようにしている。行きつけの理美容があるかたは本人馴染みの理美容室で希望に合わせたカット等出来るようになっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が同じテーブルを囲んで和やかに談話しながら楽しんでいきます。個々の好き嫌いも把握し心配りしています。	栄養士の助言を得ながら、旬の食材で利用者の嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。利用者の力量に応じて準備や後片づけを職員と一緒にしている。誕生会やクリスマス会・おやつ作りは楽しみとなっている。利用者と職員と一緒に食卓を囲み、声かけしながら食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有しています。また、グループ内の管理栄養士に相談を行い献立の参考にしています。飲み込みが困難な方はトロミ食に変更し誤嚥防止に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、声かけ、見守りを行い清潔保持に努めています。月一回の訪問歯科にて口腔チェックを行ってもらっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者1人ひとりの排泄の状況をチェック表に記入し排泄パターンの把握に努めています。本人からの訴えが出来るように定時のトイレ誘導、声掛けを行い失敗の軽減を図っていきます。	排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮しながら、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。ポータブルトイレ利用者もいる。食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者個別の排泄状況を確認し定時の声かけや水分摂取量の確認を行い、スムーズな排泄が出来るように工夫しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の健康チェック、体調、希望に応じて入浴をしていただいています。拒否がある時は無理強いすることなくタイミングをみながら入浴できるように支援しています。	個々人の体調や希望に添って、入浴時間も本人の希望に応じて支援している。毎日でも入浴できるように対応している。入浴を拒む利用者には職員間で連携し、声かけや順番を変えるなど柔軟に対応し状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々レクリエーション活動や散歩等、日中活動を多くとり夜間の安眠へとつなげています。寝付けないときは付き添い、落ち着くまで見守ります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の服薬内容、容量を理解し、一週間単位で保管され職員が内容把握できるようにしています。服薬時は職員がその都度確認し、誤薬が無いよう本人に手渡し服用してもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や片づけ、洗濯物の整理や日常生活の中での役割や楽しみ事を見出せるような場面作りを支援しています。例えば、男性も場合、話し合いの進行役をしていただく等、それぞれの特色を活かしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気、ご本人の気分や希望に応じて声掛けを行い、花見や馬踊りなどにお連れし季節を肌で感じて頂き、心身の活性につなげるよう日常的に散歩や買い物、ドライブなどに出かけています。また、ピアノコンサート、三味線などの他施設での催事にも積極的に出かけています。	日常的には近隣の散歩や買い物・ドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。計画を立てて、花見や地域の行事の馬踊り見学やファミリーコンサートなどに積極的に出かけている。家族の協力で外出や外食にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要な方は家族よりお金をお預かりし、事務所が管理しています。買い物と一緒に出掛け本人に財布を渡し、見守りながら支援しています。また、金銭管理の預かりについては、定期的にご家族に残高やレシートを確認していただき確認印をもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者の希望に応じて日常的に電話や手紙を出せるように支援しています。また、定期的に情報報告も行い、随時相談も受けられる体制となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって使いやすい配膳、馴染みの物を取り入れた設備になっています。フロアの装飾や家具の配置は利用者と一緒に考え、少しでも使いやすいと提供いただけるよう工夫しています。また、季節に添った飾りつけや、音楽を流すなどし、入居者様には昔を思い出していただいたり、安心していただけるよう配慮しています。	玄関やフロアは広く、室温や湿度・明るさなどの調整がなされており、清潔である。見守りしやすい構造となっている。利用者と職員で作成した季節感を大事にした飾りつけをしている。畳のコーナーやソファがあり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の決まった場所があり、個々自由に和室やソファでくつろいだりと思いつきに過ごせるスペースを確保しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまでの生活を比較して持ち込み物には十分な配慮をし、例えば家族の写真、手作りのカレンダー等、利用者それぞれの希望に応じた居室作りが行われるよう配慮しています。	居室はベッドとダンスが備え付けである。テレビや椅子・家族の写真・手作りカレンダーなど使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ安心して過ごせるよう配慮されている。壁にはお祝いの賞状や利用者独特の手作りの作品などがあり、その人に応じた居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯、料理など今までご本人がされてこられたことを、可能な限り続けていただけるよう支援する為、職員も一緒になって、時には見守りながら、ご本人が自立した生活を送られるよう配慮しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない